

講義要項(シラバス)

科目名	介護過程 I		授業方法	講義・演習	
担当教員名	三輪 早和子		必修・選択	必須	単位数 2単位
学科	介護福祉科	学年・時期	1年 半期		回数 15回
担当教員の 実務経験	介護福祉士養成施設 専任教員5年以上 介護職実務経験10年以上				
<p>授業の目的及びねらい</p> <p>本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を修得する学習とする。</p>					
<p>授業終了時の到達目標</p> <p>介護実践における介護過程の意義の理解をふまえ、介護過程を展開するための一連のプロセスと着眼点を理解する。</p>					
回数	各回のテーマ・内容			授業以外の事前準備学習内容	
1	介護過程の意義・目的			適宜指示を出す。	
2	介護過程の全体像			適宜指示を出す。	
3	介護過程の展開の理解			適宜指示を出す。	
4	アセスメントの疑似体験(1)			適宜指示を出す。	
5	アセスメントの疑似体験(2)			適宜指示を出す。	
6	アセスメントの目的と構成(1)			適宜指示を出す。	
7	アセスメントの目的と構成(2)			適宜指示を出す。	
8	アセスメントの目的と構成(3)			適宜指示を出す。	
9	アセスメントの目的と構成(4)			適宜指示を出す。	
10	アセスメント(情報収集)			適宜指示を出す。	
11	アセスメント(情報収集)			適宜指示を出す。	
12	アセスメント(情報収集)			適宜指示を出す。	
13	アセスメント(解釈、関連づけ、統合化)			適宜指示を出す。	
14	アセスメント(解釈、関連づけ、統合化)			適宜指示を出す。	
15	まとめ			適宜指示を出す。	
<p>成績評価の方法</p> <p>試験結果50%、授業態度・出席状況・レポート50%により評価する。</p>					
<p>使用テキスト・参考書等</p> <p>最新介護福祉士養成講座9「介護過程」第2版 介護福祉士養成講座編集委員会編集(中央法規出版)</p>					
<p>授業に関する特記事項(携帯電話の取り扱い・授業内のルール等)</p> <p>携帯電話の取扱いは教員の指示を守る。</p>					